

# 食品リサイクルの取り組み

## 2016年度

①リサイクル量		2,207.3t
店舗	野菜・肉の加工くず堆肥化 (コープ土づくりセンター)	524.5t
	肉の加工くず飼料化(外部委託)	19.0t
	魚アラの飼料化(外部委託)	288.4t
食品工場	バイオマス発電への投入	503.8t
	パン耳等の飼料化	183.0t
	おからの乾燥・飼料化	579.8t
	おからの乾燥(水分量)	1,570.8t
	廃食油の燃料・熱回収	53.9t
	製造くずの堆肥化 (コープ土づくりセンター)	54.8t
②食品廃棄物の廃棄量		1,925.8t
リサイクル率 ①÷(①+②)		66.2%
食品リサイクル法上の再生利用等実施率		76.0%

※食品リサイクル法上の再生利用等実施率には、発生抑制量などが勘案されています。

### 1. コープ土づくりセンターでのリサイクルについて

神戸・三木・明石・芦屋市内の36店舗から野菜と肉の加工くずを、また食品工場から製造くず(めんなど)を回収しています。回収した加工くずは、三木市にあるコープ土づくりセンターで、堆肥製造の原料として活用されています。製造された堆肥は、土づくりセンターに隣接する(有)みずほ協同農園で使用され、収穫した農作物はコープこうべの店舗で供給されています。

### 2. 食品工場でのリサイクルについて

- ①豆腐製造の際に発生する生おからを乾燥し、飼料の原料として売却しています。この乾燥させる工程に必要な熱源として、工場で発生する廃食油を利用しています。
- ②おから以外の食品廃棄物を分解し、その過程で発生するメタンガスを取り出し、工場内の燃料として活用しています。
- ③製造過程で発生する一部の製造くず(めんなど)を、堆肥化しています(コープ土づくりセンター)。

## 六甲アイランド食品工場のバイオマス発電

パンや豆腐などを製造する六甲アイランド食品工場では、おから乾燥設備やメタン発酵を活用し、食品廃棄物をリサイクルしています。



バイオマス発電

### ■バイオマス発電のしくみ

